

第7回加藤敏夫フェロー（2026年度）の決定について

理事長 石毛 和弘

東南アジア在住の若手研究者を対象とした、第7回（2026年度）加藤敏夫フェローの募集が行われました。日本数学会、東南アジア数学会から構成される加藤敏夫フェロー選考委員会において慎重な審議・検討がなされ、Suchada Pongprasert氏（下記）が選考されました。理事会での承認を経て同氏に通知され、2026年度より受け入れ大学において1年の研究滞在をする運びとなりました。

2025年6月23日から11月14日までの募集期間において、現在活躍されている東南アジア在住の若手数学者に声をかけてくださった方々、またフェロー採択の際に受け入れを引き受けてくださった方々など、御協力をいただきました。お陰様で、優秀な応募者に恵まれました。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

今後とも東南アジア若手数学者育成という目的のもと、加藤敏夫フェローを継続していく所存ですので、御協力何卒よろしくお願い申し上げます。

今回加藤敏夫フェローとして採択された方と受け入れ研究者は次の通りです。

2026年度加藤敏夫フェロー

Suchada Pongprasert 氏

(Assistant Professor, Department of Mathematics Srinakharinwirot University)

受け入れ研究者

中島 俊樹 氏

(上智大学理工学部・教授)

※上記の所属及び職種は原稿執筆現在の情報です。